

今年の日本政治を展望する

政策研究大学院大学教授
飯尾 潤 じゅん

- *複雑化する世界の情勢
- *勝てるときに選挙をやったかつた
- *解散は政権維持の時間稼ぎ
- *自民党の将来を占う秋の総裁選挙
- *統一地方選で波乱は起きない
- *アベノミクスの結果を刈り取る時
- *地方創生の鍵は人の往来
- *国民的理解が置き去りに
- *野党に必要な有権者との対話
- *失われる日本人の一体性



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はおよそ1年4カ月ぶりですが、おなじみの飯尾先生に来ていただきました。今年の政局の行方、そして政治のいろいろな課題についてお話をいただきます。年の初めでございますので、あまり下世話な話題よりは少し理論的なお話が聞けると思います。いろいろ事件も内外ございますが、少し中期的な問題も含めて、幅広く分析をしていただけたと思いますので、じっくりお聞きいただきたいと思います。

それではよろしくお願いたします。（拍手）

飯尾 ご紹介いただきました飯尾でございます。す。

この会は随分以前にご依頼いただきましたのですが、去年の10月とかに講演しなくてよかつたなどと思

っております。そのころに呼ばれていたら、解散の噂があるがどうかと聞かれて、まず解散はないでしょうとか、自民党は少し減らすのではないかみたいなことを言って皆さんがっかりさせたのではないかなと思います。自ら反省して、予想は当たらないという自覚もありますので、そういうことはあまり申し上げないと思います。

複雑化する世界の情勢

実は今からお話をしますように、構造的にこれが今年起こりますということを非常に申し上げにくい年です。もし去年呼ばれていると、暮れにかけて政権は大変になるでしょうという話をしたと思います。ところが政権のほうはよく